

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

株式会社キーレックス 本社 海田工場

(2) 事業所の所在地

広島県安芸郡海田町南明神町2番51号

(3) 業種

3113 自動車部分品・附属品製造業

2 計画の期間

本計画の期間は、平成25(2013)年度を基準年度とし、令和3(2021)年度から令和7(2025)年度までの5年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量（t-CO₂）、削減率（％）

温室効果 ガスの種類	基準年度 排出量(a)	目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：実排出量(d)、下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()	令和 年度 ()
エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 実排出量総計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス みなし排出量							
実績に対する自 己評価							

※ 削減率(c) = ((a)-(b))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

エネルギー使用量(kl)/加重台数 Assy(千台)

温室効果 ガスの種類	基準年度 原単位 (a)	目標年度 上段：原単位 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績(d)、下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成25年度 (2013)	令和12年度 (2030)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和 年度 ()
エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非エネルギー 起源CO ₂		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 排出量総計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
エネルギー消費 原単位 (原油換算kl)	0.2479	0.2058 17.0	0.2017 18.6	0.1895 23.6	0.1983 20.0	0.2352 5.1	100.0
実績に対する自 己評価	海田第2工場の稼働開始（生産無し）により電力使用量は増加した一方、現有設備の生産量は減少し、結果としてエネルギー原単位が悪化した。						

※ 削減率(c) = ((a)-(b))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項 目	削減量等	具体的な取組
1	電気使用量の削減	2013年度BMよりエネルギー消費原単位5.1%削減	・休憩時間の消灯の徹底 ・冷暖房の適正管理 ・LED照明の導入と灯数・配置の見直し ・エアー配管経路の短縮 ・エアー漏れ測定と対策実施 ・設備機器の効率的な使用 ・設備の集約化 ・老朽化したコンプレッサーの更新
2			
3			
4			

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種 類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組

	項 目	削減量等	具体的な取組
1	廃棄物排出量の削減	前年度実績以下	・分別収集及び資源化の徹底
2	省エネ意識の向上		・省エネ推進委員会（2回/年） ・省エネ教育の推進（1回/年）
3	その他	数値目標は設定せず	・工場周辺の美化活動の実施 ・省エネパトロールの実施

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記載してください。